



群馬県立吾妻特別支援学校

令和3年度 ICT活用実践集



ICT機器の整備状況

- iPad整備状況

- ・ 令和2年12月に行われた、GIGAスクール構想によるICT整備事業によって、多くのiPadが整備された。
- ・ 今回、教師用と生徒用を合わせて30台が配備された。
 - 小中学部校舎:教師用8台 児童生徒用15台
 - 高等部校舎:生徒用7台



ICT機器の整備状況

- その他ICT関連機器
 - ・ テレビ、実物投影機
 - 各教室に配備
 - ・ Wi-Fi環境
 - GIGAスクール構想により、各教室や特別教室に配備
 - ・ 児童生徒用ノートパソコン×7台
 - (R7年9月リース終了とともにiPadに入れ替わっていく予定)

iPad周辺機器

- 小中学部校舎

- (1) 出力関連

- ・ Lightning - Digital AVアダプター ×10
- ・ Apple TV ×5
- ・ Sphero mini ×3(予定)

- (2) 入力機器

- ・ Apple ペンシル ×4
- ・ Bluetoothキーボード ×8
- ・ ペリックストラックパッド ×3(予定)
- ・ iPadタッチャー×3(予定)

- (3) 固定器具

- ・ アジャスタブルユニバーサルアーム ×3
- ・ miyasukuスタンドH型フルバージョン×1

- 高等部校舎

- (1) 出力関連

- ・ Lightning - Digital AVアダプター×6
- ・ Apple TV×2
- ・ Sphero mini ×3(予定)

- (2) 入力機器

- ・ Apple ペンシル ×4
- ・ Bluetoothキーボード ×7
- ・ ペリックストラックパッド ×3(予定)
- ・ iPadタッチャー×3(予定)

- (3) 固定器具

- ・ アジャスタブルユニバーサルアーム ×2
- ・ miyasukuスタンドH型フルバージョン×1

本校職員が受講したICTに関する研修

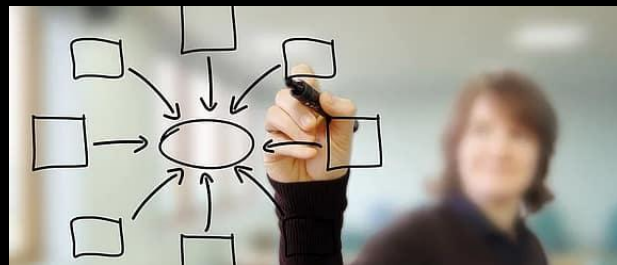
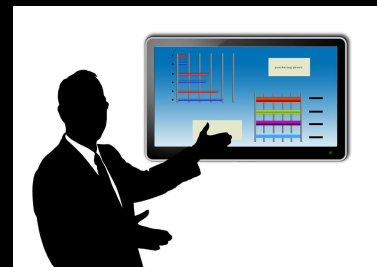
5月17日	校内研修① ICT活用の根拠・GドライブやGアプリの基本操作実習
6月14日	校内研修② 校内メール活用・iPad操作(マルチスク、アクセスガイド、マークアップ)実習
7月29日	総合教育センター ICT指導力向上研修
非同期	総合教育センター 特別支援教育充実研修講座
9月6日	群馬県教育委員会 ICT教育イノベーションPJモデル校講師招聘研修
9月24日	群馬県教育委員会 ICT活用スキルPJモデル校による中間報告会
9月27日	校内研修③ Jamboard、ブレイクアウトルーム実習
11月22日	校内研修④ Googleスライドを使った実践集制作

「ICTを活用する」とは？ ※ PJモデル校による実践発表より

児童生徒自身が、触る・操作するはもちろん重要だが...

理解を促進する
発想しやすくする
観点を共有する

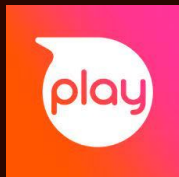
これらを含みます。





本校でのICT活用実践

Sphero Play (スフェロ プレイ)



○ アプリの概要

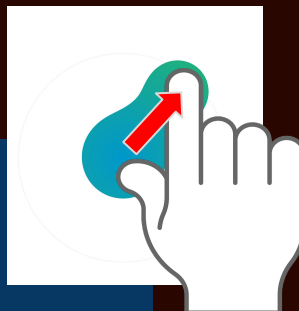
- ・ iPadで操作することができる球体の端末。
- ・ 専用アプリによって、ラジコンのように操作したり、事前に動き方や光り方をプログラミングしたりすることが可能。

○ このアプリを使った理由

- ・ 矢印を押すだけという単純なコマンドでありながら、ボールが目の前で動き回るといわかりやすいフィードバックだった。よって、初期段階の児童でも取り組めると思った。

○ ジョイスティック

- ・ 典型的なラジコン操作
- ・ カーソルを動かした方向に、ボールが転がる

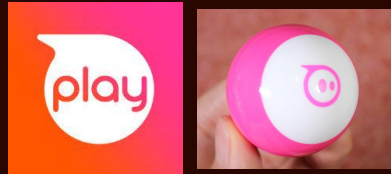


○ ブロック

- ・ 転がしたい方向とライトの色を選択できる
- ・ それらを組み合わせて、ボールを動かす



Sphero Play (スフェロ プレイ)



○ 指導の形態

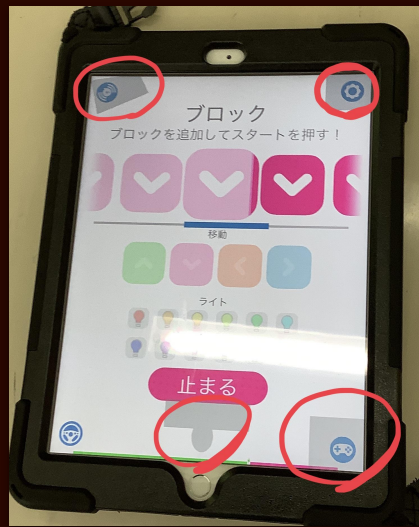
- ・ 遊びの指導

○ 目標

- ・ 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつことができる。

○ 取組の様子

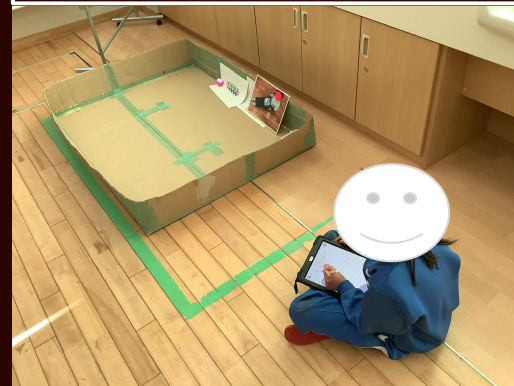
- ・ 予想に反して、児童は「ジョイスティック」よりも「ブロック」に興味をもった。
- ・ 一人はボールが自分の方に向かってくる様子を楽しみ、「ピンクのボタンを押すと、こっちにくる」と、ブロックの意味を理解することができた。



赤丸は、アクセスガイド

○ 1～4時間目

初めはダンボールの中で実施。
(ボールが見えづらくてうまくいかず ...)



○ 5～9時間目

廊下で行うと、「前と後」の二択になってわかりやすい！



GarageBand (ガレージバンド)



○ アプリの概要

録音した声をロボットや宇宙人など、様々な声色に変換することができる。また、ピアノ、バイオリン、ドラムなどの音色を使って作曲することもできる。

○ このアプリを使った理由

ハロウィンパーティーの司会進行や効果音を録音することで、「相手に伝わるように話そう」という意欲をもち、面白さを感じながら取り組めるのではないかと考えた。

クリックするだけで、8種類の声色に変換することができる。さらに、再生速度も変換できるので、より面白さが増す。

録音した声にタイトルを付けて保存し、何度も再生することができる。



11・覚悟するんだな
2021/10/29 7:56
6.6 MB



きゃあああ
2021/10/29 11:11
4.9 MB

GarageBand (ガレージバンド)



○ 指導の形態

- ・ 生活単元学習

○ 目標

- ・ 語のまとまりに気を付けて音読することができる。

○ 取組の様子

- ・ 録音した声を様々な声色に変換できることに面白さを感じている様子が見られた。
- ・ 自分達で考えた台本を使い、楽しく取り組むことができた。

○ 課題

- ・ アプリの特徴を活かし、効果的に授業に取り入れていきたい。

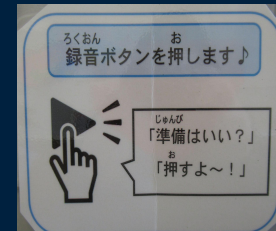
1時間目

「台本を読む」以外は役割を決めずに取り組んだ。
待っている時に、録音ボタンを押したいという生徒が多かった。



2時間目

「台本を読む」「録音ボタンを押す」「待っている」のカードを使用して取り組んだ。
自分の役割が明確になり、順番を待ったり、主体的に取り組んだりすることができた。



Jamboard (ジャムボード)



○ アプリの概要

電子ホワイトボード

ふせん機能による意見の共有・分類

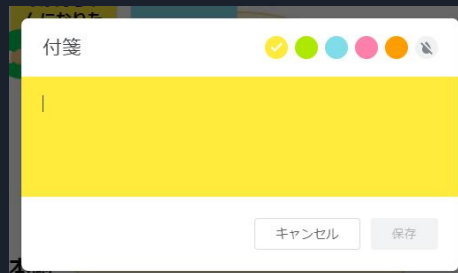
手書きで書き込んだり、画像などを挿入したりすることもできる。

○ このアプリを使った理由

発言や前に立っての発表が苦手な生徒も気軽に意見を出しやすく、後から振り返って内容を整理しやすいため。また、画像も貼りつけることができ、視覚的にわかりやすい。

○ ふせん機能

- ・ 簡短な文章を記入して画面にはりつけることができる。
- ・ 色分けにより名前を書かなくても誰の発言かわかる。



○ ステッカー機能

- ・ 友達の意見にスタンプ感覚でリアクションできる



Jamboard (ジャムボード)



○ 指導の形態

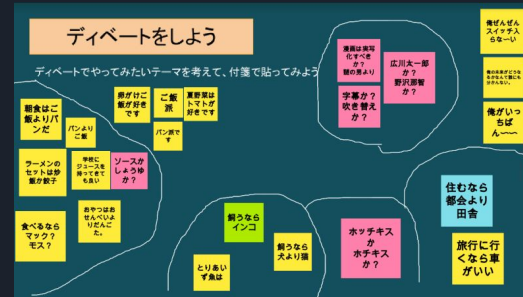
- ・ 国語科

○ 目標

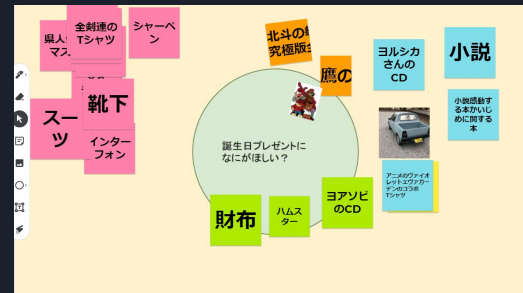
- ・ 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

○ 取組の様子

- ・ あらかじめフォーマットを作り、付箋を貼り付ければよいだけの状態にした。はじめのページに注意書きを載せ、全員で内容を確認してから使用した。
- ・ やり方がわかると、テーマに合わせて自分の意見を付箋に貼りだして分類したり、ステッカーで友達の意見にリアクションをしたりすることができた。



1~5時間目
「ディベートをしよう」で
テーマ選びや下調べの意見共有に
使った。
グループごとに意見をまとめたり、お
互いの調べ学習の進み具合がわ
かった。



6~9時間目
別の教室にいる友達とも
Jamboardの画面を共有しながら
一緒に「ころかるた」を行
い、ステッカーや書き込みで友
達の意見にリアクションを送る
ことができた。